

競争入札参加資格審査申請書様式等の調達関連手続の標準化に関する取組の当面の進め方について（たたき台）

競争入札参加資格審査申請における様式等の調達関連手続の標準化に関する取組の当面の進め方（たたき台）①

【背景】

- 地方財務会計制度の見直しについては、昨今の新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた社会全般のデジタル化等の社会経済活動全般の効率化を図る必要性を踏まえると、「地方公共団体と他の経済主体との関わりについての規範」としての側面から、地方財務会計制度の一定の標準化・統一化を図る方向での見直しが必要とされているのではないか。
- このうち、具体的な「他の経済主体との関わりについての規範」の側面から見直しの対象となり得る事項は、「地方公共団体による収入・支出の方法」と「調達関連手続」が考えられるところであるが、「地方公共団体による収入・支出の方法」については、本研究会中間報告において、その見直しの方向性について提言がされているため、当面、本研究会においては「調達関連手続」の見直しについて議論することとし、具体的には、経済関係団体等からも強く要望が寄せられていることを踏まえ、「地方公共団体の調達関連手続・様式等の標準化」について議論することとしてはどうか。

競争入札参加資格審査申請における様式等の調達関連手続の標準化に関する取組の当面の進め方（たたき台）②

【当面の取組の進め方】

- 地方公共団体の調達関連手続・様式等の標準化については、民間事業者等の他の経済主体の社会経済活動に深く関わるものであることから、研究会において、標準化をすることが望ましいと考えられる調達関連手続・様式等を民間事業者等からヒアリング等により聴取することとするか。
- 民間事業者等から標準化することが望ましいとされた調達関連手続・様式等のうち、地方公共団体及び民間事業者等を通じた社会経済活動全般の効率化を図る観点から、地方公共団体において標準化を図るべきと考えられる調達関連手続・様式等について、更に民間事業者等や地方公共団体の意見を聴取し、また、国の調達手続に関する調達関連手続・様式等を参考としつつ、総務省において「競争入札参加資格審査申請に係る標準項目等」のような「標準とすべき調達関連手続・様式等の例」を作成することとすべきか。
- 「競争入札参加資格審査申請に係る標準項目等の活用状況に係るフォローアップ等調査」等を見ると、各地方公共団体の調達関連手続・様式等についての実際の運用は種々の差異が見られるところであり、かつ、現行制度上は、その大半が国の法令による規範事項となっていないことから、「標準とすべき様式等・調達関連手続の例」を総務省において作成し、これを地方公共団体に対して技術的な助言（地方自治法第245条の4第1項）により、標準化に向けた取組を慫慂していくこととしてはどうか。

競争入札参加資格審査申請における様式等の調達関連手続の標準化に関する取組の当面の進め方（たたき台）③

【中長期的な取組の進め方】

- 先述のとおり、まずは、「標準とすべき様式等・調達関連手続の例」を踏まえた取組について、総務省として地方公共団体に対して慫慂していくこととするか。
- その上で、調達関連手続・様式等の標準化に向けた地方公共団体の取組や、調達関連手続に関するシステムの整備の取組を促進していくこととし、その進捗状況に応じて、調達関連手続・様式等について国の法令により統一化することや、調達関連手続に関するシステムの仕様についての標準化を検討することができるか。